

2022年11月28日

JFE建材株式会社

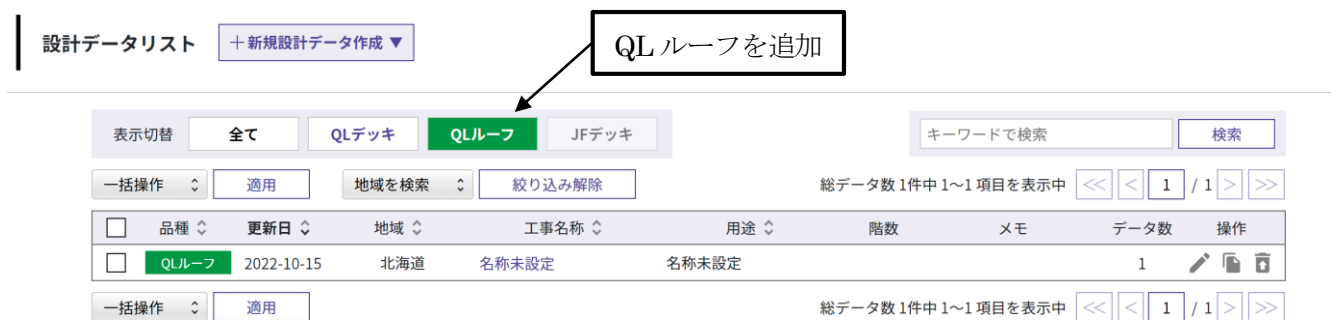
## 「QL check オンライン」の QL ルーフ設計機能の実装について

当社は、デッキプレート構造計算クラウドサービスの利便性向上を求める声にお応えし、この度、現行「QL check オンライン」に屋根用デッキプレート「QL ルーフ」の設計機能を実装いたしました。

従来のダウンロード版構造計算プログラムの使い慣れた操作感を踏襲しユーザー様の負担を減らすと共に、「QL check オンライン」に QL ルーフを追加したことで、QL デッキと QL ルーフの計算書情報の一元管理が可能となりました。

### 【設計データを一元管理・編集】



いつでも保存・検索・編集が可能な設計データリスト画面で、設計データを物件毎に一元管理できます。設計データの入力には目的に応じて選べる個別入力モードとリスト入力モードの2つのモードをご用意しました。リストで並べて比較して、インターネットを通じていつでもどこでも設計計算が可能です。



設計データリスト +新規設計データ作成 ▼

表示切替 全て QLデッキ **QLルーフ** JFデッキ キーワードで検索 検索

一括操作 適用 地域を検索 絞り込み解除 総データ数 1件中 1~1 項目を表示中 << < 1 / 1 > >>

<input type="checkbox"/>	品種	更新日	地域	工事名称	用途	階数	メモ	データ数	操作
<input type="checkbox"/>	QLルーフ	2022-10-15	北海道	名称未設定	名称未設定			1	 

一括操作 適用 総データ数 1件中 1~1 項目を表示中 << < 1 / 1 > >>

図 1. データ管理画面

QLルーフの構造計算書入力  
個別入力モード

地域 北海道 工事名称 名称未設定 用途 名称未設定 階数 階数

資料 >
QL99-50
QL99-75

リスト入力モードに切替
1 件目 / 1 件中

### デッキプレートと梁（母屋）の接合

鉄骨造
木造

焼抜き栓溶接	梁(母屋)厚さ:6mm以上 低水素系溶接棒φ4,溶接径18mm以上
ドリルねじ [JIS B1124-2003] (参考)	梁(母屋)厚さ:2.3~6.0mm未満 φ6以上×φ19mm以上
打込み鉄	梁(母屋)厚さ:6mm以上

表題	名称未設定
スラブ符号	名称未設定
耐火時間	屋根30分耐火構造(FP030RF)
建物種別	鉄骨造
デッキ種類	QL99-50
板厚	1.2 mm
表面処理	Z12
単位重量	127 N/m <sup>2</sup>
梁との接合	
端部	
接合方法	焼抜き栓溶接 (母屋板厚≥6mm)
箇所数	3 箇所
中間部	

保存
新規
複製
削除
判定
計算書出力

(a)個別入力モード

QLルーフの構造計算書入力  
リスト入力モード

地域 北海道 工事名称 名称未設定 用途 名称未設定 階数 階数

操作	【計算データ4件】	移動 個別入力モードへ	移動 個別入力モードへ	移動 個別入力モードへ	移動 個別入力モードへ
表題	名称未設定	名称未設定_copy	名称未設定_copy_copy	名称未設定_co	名称未設定_co
スラブ符号	名称未設定	名称未設定	名称未設定	名称未設定	名称未設定
耐火時間	屋根30分耐火構造(FP030RF)	屋根30分耐火構造(FP030RF)	屋根30分耐火構造(FP030RF)	屋根30分耐火構造(FP030RF)	屋根30分耐火構造(FP030RF)
建物種別	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造
デッキ種類	QL99-50	QL99-50	QL99-50	QL99-50	QL99-50
板厚	1.2 mm	1.2 mm	1.2 mm	1.2 mm	1.2 mm
表面処理	Z12	Z12	Z12	Z12	Z12
単位重量	127 N/m <sup>2</sup>	127 N/m <sup>2</sup>	127 N/m <sup>2</sup>	127 N/m <sup>2</sup>	127 N/m <sup>2</sup>
梁との接合					
端部					
接合方法	焼抜き栓溶接 (母屋板厚≥6mm)	焼抜き栓溶接 (母屋板厚≥6mm)	焼抜き栓溶接 (母屋板厚≥6mm)	焼抜き栓溶接 (母屋板厚≥6mm)	焼抜き栓溶接 (母屋板厚≥6mm)

保存
新規
判定
計算書出力

(b)リスト入力モード

図 2. 入力モード画面

## 【耐火・構造性能判定機能】

入力内容に応じて、耐火と構造性能のOK・NG判定を一覧で表示します。また、耐火判定結果にカーソルを合わせると判定可否の理由が一目で分かります。煩わしい資料の参照、比較作業から解放され、設計に要する時間を短縮できます。

①計算条件を入力し判定

OK・NG判定が一覧表示

②耐火仕様を選択

カーソルを合わせると判定理由が分かる

③計算書出力

図 3. 計算の流れ

## 【便利機能の充実】

入力データから構造計算書や設計施工標準図を自動出力する機能や、計算結果を複数表示する一覧表示機能（ケーススタディ）も現行「QL check オンライン」から踏襲し、かつ、利用マニュアルやFAQなどの設計サポートシステムを活用することで、設計業務の効率化を支援します。

JFE 建材株式会社は、今後も、設計・施工現場の声に耳を傾け、社会・市場・顧客のニーズに応えるべく鋭意研究開発に努めてまいります。

[本件に関するお問い合わせ]

JFE 建材株式会社 建築技術部

<https://decks.jfe-kenzai.co.jp/doc/mai/> →

